

令和4年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市立花屋敷グラウンド					
所在地	宝塚市花屋敷荘園4丁目2番					
指定管理者	団体名	国際ライフパートナー株式会社		指定期間	開始日	平成31年4月1日
	所在地	宝塚市花屋敷荘園4丁目2番35号			終了日	令和6年3月31日
選定方法	公募			評価実施年	指定期間4年のうち2年目	
施設設置目的	青少年の心身の発育並びに住民の体育・スポーツの振興を図ることにより、心身ともに健全な青少年、住民の育成に寄与することを目的とする。					
主な実施事業	①健康保持のための教室及び各種スポーツ教室の開 ②社会体育施設の管理運営の受託事業 ③健康・スポーツに関する調査研究及び情報提供 ④その他目的を達成するために必要な事業					

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数	千人	190	199	190	188	190	160	190	196
b 利用率	%	60	57	60	56	60	65	60	64
c									
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区 分		平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算
収入計	A	33,523	33,948	34,345	38,392
指定管理料		17,980	18,167	19,125	18,486
利用料収入	C	11,158	11,262	10,829	11,781
自主事業収入		3,500	3,662	3,750	7,360
その他		885	857	641	765
支出計	B	33,182	33,914	34,419	38,171
指定事業費		29,303	31,743	31,265	34,235
内、人件費	D	14,852	17,148	17,721	19,068
内、再委託料	E	4,493	4,734	4,545	4,659
自主事業費		3,879	2,171	3,154	3,936
事業収支	A-B	341	34	(74)	221
利用率	C/A	33.3 %	33.2 %	31.5 %	30.7 %
人件費率	D/B	44.8 %	50.6 %	51.5 %	50.0 %
再委託費比率	E/B	13.5 %	14.0 %	13.2 %	12.2 %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	①新型コロナウイルス感染症の影響により、4月25日から5月11日まで臨時休館した。 ②令和3年度指定管理料のうち、新型コロナウイルス感染症に係る臨時休館等による損失補填額は506,742円。
------	--

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	A	A
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A	A
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	S	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守している。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A	A
	情報公開	情報公開に関する法令等に準じた運用を行っている。	A	A
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	A
管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A	
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	S	A	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	S	A	
財務状況	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	S	A	
	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A	
《 総括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A	
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	S	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	A
	事業運営	言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	S	A
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	A
	維持管理	施設の目的に添った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	A
	環境配慮	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	A
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	S	S
広報活動	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A	A	
	協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A	
苦情等対応	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A	
	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	S	A	
利用者アンケート等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	S	S	
	利用者アンケート調査等を実施し、その結果が妥当である。	S	A	
《 総括 》	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	A	A	
	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A	
③安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	S	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	S	A
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
《 総括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設 項目】	A	A	
指定管理者所見 (成果、課題、今後の改善点等)	前年に比べ利用者数の増加を達成できた。一般貸しに加え、自主事業としてフットサルコートを増設、管理を始めたことが主な要因となっています。また、卓球教室等も充実させ、グラウンドやテニスコート以外の目的をもって来館される方が増え、新たに当施設を認知いただけることも多くなりました。			
施設所管課所見 (成果、課題、今後の改善点等)	コロナ禍にも関わらず、利用料金収入及び自主事業収入が、それぞれ前年と比較して8%と96.3%増加している点は評価できる。また、利用者数についても前年と比較して17%増加しており、利用者のニーズを把握できている点についても評価できる。広報活動にはInstagram等のSNSだけでなく、LINEも活用しており、LINEによる自主事業の申込受付については、利用者増加の一因となっていると考えられる。今後も安全管理に重点を置いた、適切な維持管理を期待したい。			
前年評価	A	総合評価	A	

※評価区分

評価基準:	S	=	協定書等の水準を大きく上回っており、優良である。
	A	=	協定書等の水準を満たしており、良好である。
	B	=	協定書等の水準を満たしているが、一部改善が望ましい。
	C	=	協定書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
《総括》:	S	=	評価基準が全てA以上であり、かつSが過半数である。
	A	=	評価基準のうちBが3割未満で、Cがない。
	B	=	S、A、C以外
	C	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	S	=	自己評価、所管評価の《総括》にB・Cが含まれず、かつSが過半数である。
	A	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、Bが2つ以下である。
	B	=	S、A、C以外
	C	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。